

発行：吉田地区地域コミュニティ運営協議会事務局

じ

0954-43-9380

新年あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお祈りします。

吉田地区地域コミュニティ運営協議会

会長 田平繁廣 役員一同



「子ども夢会議記念講演を開催しました！」

令和4年11月6日（日）吉田小学校体育館において、吉田小学校、吉田中学校、吉田コミュニティ共催で、第13回子ども夢会議を児童生徒及び保護者の方々に集まっていたいただき開催しました。

講師は、嬉野市内で各種事業所を経営されている中林正太氏で「可能性は無量大～無理って誰が決めたこと？～」を演題に約1時間お話をしていただきました。講演は子どもたちへの質問から始まりました。「吉田が好きな人？」の質問に手を挙げた生徒はその理由を「人が少ないから」という答えを返してきました。また、「夢がある人？」の質問には「自分は吉田で焼き物を作りたい。」と具体的な思いを答えた児童がいました。講師自身は、「若いときには嬉野から出たくてしようがなかったが、今は嬉野が大好きで住んで良かったと思える。」と話されていました。

中林さんは、介護事業や春日プロジェクトとしてのカフェ開設やお茶の実から良質の油を搾り取る事業などもされていてその内容もお話いただきました。また、プライベートでは、富士山登山やフルマラソンへの挑戦のご苦労の話も興味深かったです。さらに、「子ども映画プロジェクト in 嬉野」の紹介の動画の中での小三から中三の活躍を吉田っ子も身近に感じたのか、引きこまれるようにスクリーンを見つめていました。

中林さんの講演は「周りの人がいう無理は無理じゃない！」という言葉で締めくくられました。講演が終わって、吉田中三年の山口礼慈君が「講演してくださりありがとうございます。たくさんの人



が関わった取り組みの様子を見て感動を覚えました。僕も自分も好きなことに勇気を出して挑戦したいと思いました。」とお礼の言葉を述べました。また、山口君と吉田小六年生の岡瑞稀さんから吉田焼のどんぶりや吉田産米と野菜の詰め合わせをお礼の記念品として手渡しました。その日は小中ともに「夢ハンカチ」が校内に飾られて夢いっぱいの日となりました。

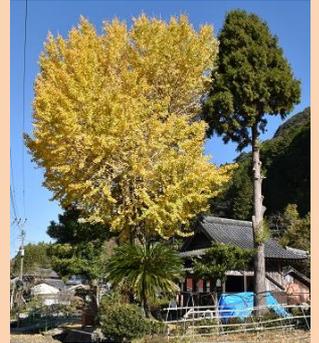
各区をぶらりご訪問！

今回は西川内地区へのご訪問です。山口正昭区長の案内の巨大な岩を割る形でそびえ立つ千年を超えると伝わる大楠とそれに絡む大藤は周囲を圧倒するような迫りに満ちていました。藤の花のシーズンには、案内看板を設置して、たくさんの人に見ていただくようにしているとのことでした。また、「西川内長寿会」の皆さんが、月に2回ほど清掃をされていくれいに保っているということでした。



フラワー大作戦～吉田を花いっぱい～

11月2日（水）吉田小学校において、活生き吉田会（小野求会長）と吉田中、吉田小の児童・生徒によるプランターへのパンジーなどの植付けが会員の指導のもとに行われました。公民館、郵便局などに置かれて皆さんの目を和ませることになります。



閑話休題：両岩区はらみ地蔵のいちょうの木

第1回レクボッチャ大会でにぎわいました！



11月27日（日）吉田小学校体育館をお借りして各区の代表17チーム90人の参加により「第1回レクボッチャ大会」を開催しました。大会は田平会長の勝ち負けよりも楽しい一日にしましょうのあいさつにより始まりましたが、言葉どおりレク中は会場のあちらこちらで笑い声が響き渡っていました。慣れないレクながら、スポーツ推進員の審判と体育部長の運営協力によりスムーズな実施を行うことができました。ボッチャとは、年齢・性別・障害の有無などを問わずに楽しめるレク・スポーツです。吉田コミュニティでは、

今回の大会開催に合わせてボッチャボールを4セット購入し継続的な大会の開催を目指し、また地域での利用を目的として貸出を行いますのでご利用ください。

今回、色々な技を見ることができました。強いボールで相手ボールを弾き飛ばしたり、天井まで届けといわんばかりの高いボールを投げたりとか工夫されていましたが、おおむね空振りに終わっていたようです。逆に年配の方のグラウンドゴルフで鍛えた距離感に優れたソフトな投法に軍配が上がっていたような気がします。優勝は両岩Aでしたが、紙一重の勝利でどのチームが勝ってもおかしくない第1回大会でした。



編集後記：鬼に笑われそうですが、令和5年度にコミュニティでは、お正月用のしめ縄として吉田小学校5年生を対象に「ファミリーしめ縄づくり」を計画中です。親子で一緒にトライする手作りのしめ縄は味があって、福を招くに違いないと思います。